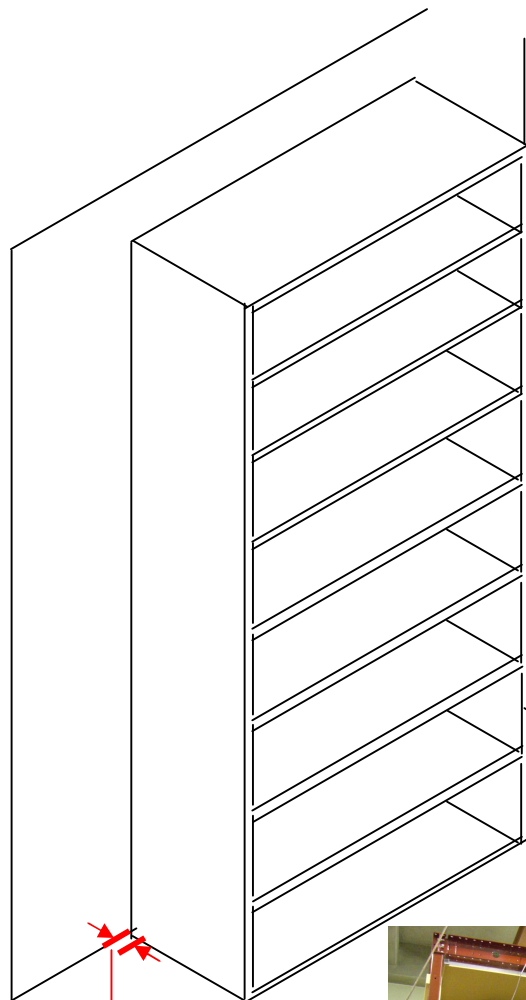
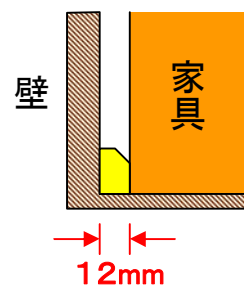


一棚（高さ2.3m）の固定一

金具固定なし (H=2300mm)

固定がない状態で、壁との隙間を
変えて実験を行った。



隙間
= 壁と家具との距離



駆動装置側(カーペット) 隙間=12mm

入力波レベル	家具の状態
50%	転倒する
75%	2波目で転倒する

制御装置側(フローリング) 隙間=12mm

入力波レベル	家具の状態
50%	転倒しない
75%	1波目で転倒する

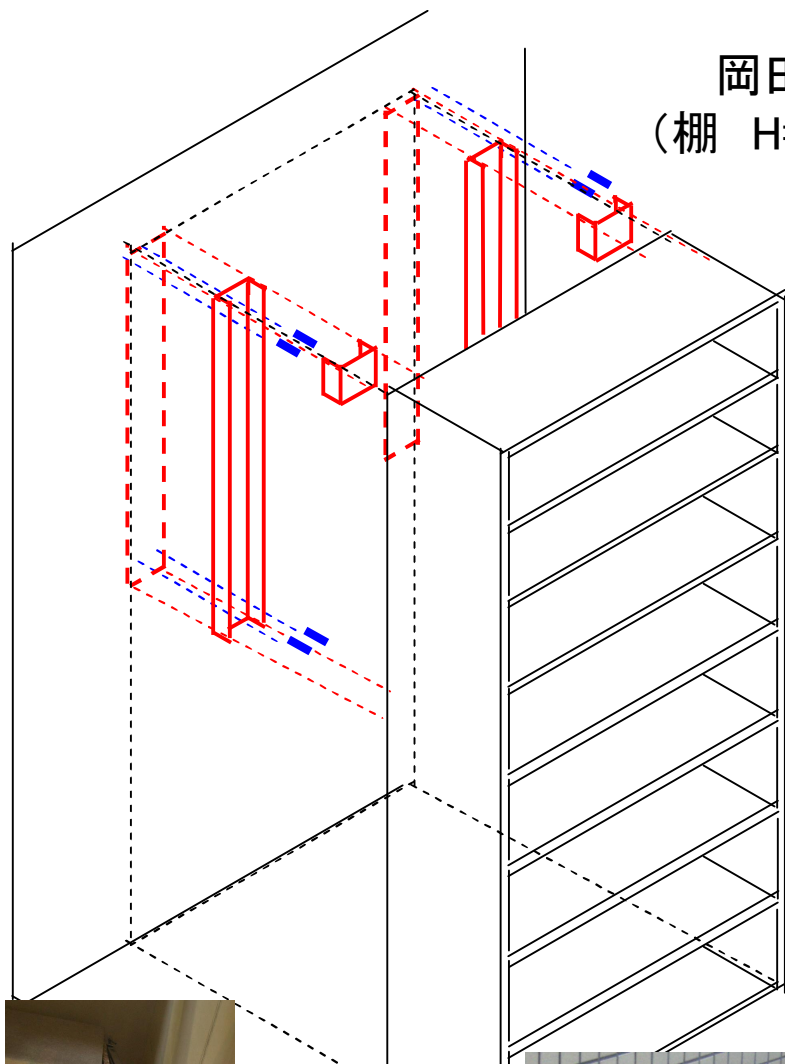
駆動装置側(カーペット) 隙間=20mm

入力波レベル	家具の状態
50%	転倒しない
75%	転倒しない
98%	転倒する

制御装置側(フローリング) 隙間=20mm

入力波レベル	家具の状態
50%	転倒しない
75%	転倒する

岡田式金具 (棚 H=2300mm)



駆動装置側(カーペット)

入力波レベル	家具の状態
75%	(情報なし)
98%	壁に接合したプレートが曲がり、前方に移動するが、転倒はしない

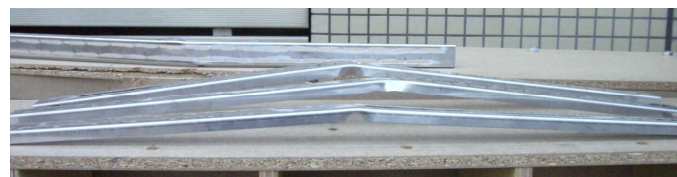
制御装置側(フローリング)

入力波レベル	家具の状態
75%	(情報なし)
98%	壁に接合したプレートが曲がり、前方に移動するが、転倒はしない

壁に取り付けた1m程度の長さのU字金具と、家具上部に取り付けたU字金具とを、ピンによってつなぐ固定方法である。

この方法で揺すったところ、98%時には上部が前に出る形で金具が変形し、家具も全体的に前方に動いたが、転倒はしなかった。

しかし、家具の背板上部では破損が見られた。



山岸金具（棚 H=2300mm）

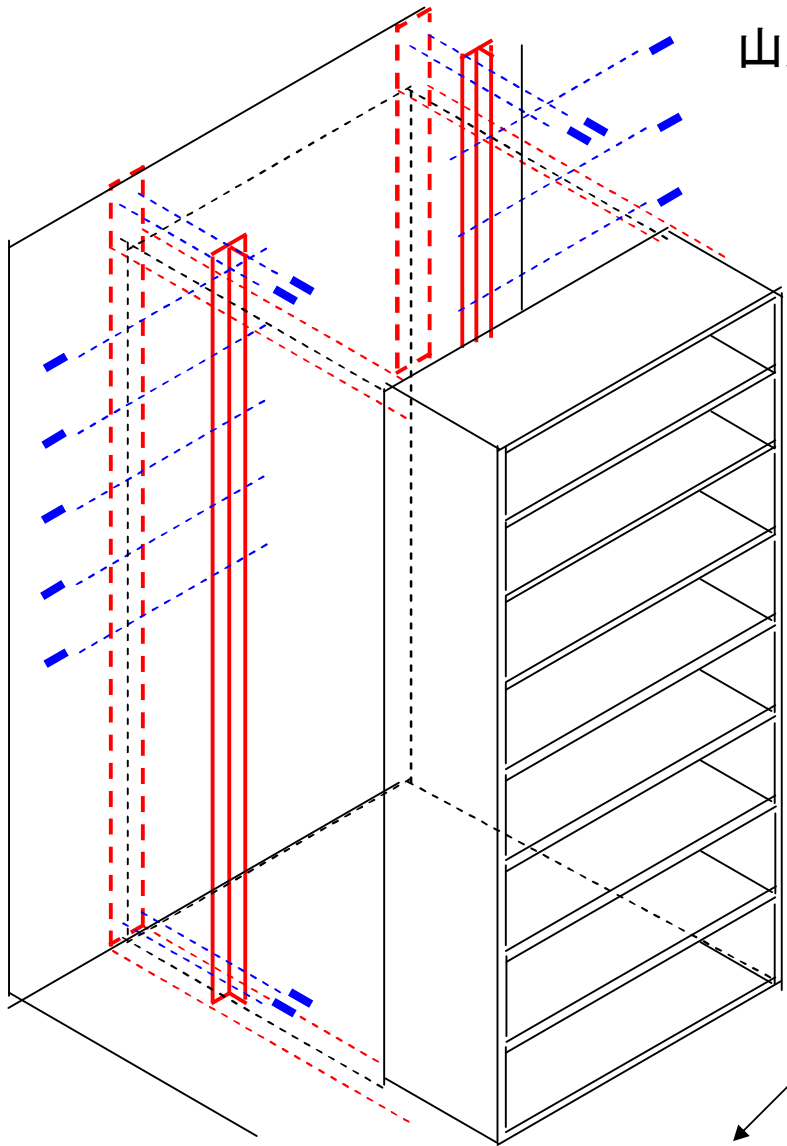
駆動装置側（カーペット）

入力波レベル	家具の状態
75%	金具は変形するが、転倒せず
98%	家具-金具接合部のビスが全部抜け転倒する

制御装置側（フローリング）

入力波レベル	家具の状態
75%	金具は変形するが、転倒せず
98%	家具上部の破損は大きいですが、転倒はしない

ここでは、T字型の金具を壁の2点で固定するのは同じであるが、棚の上半分を金具としっかり固定して実験を行った。



その結果98%時には、カーペット側では家具側のビスが全部抜けて転倒し、フローリング側では転倒はしなかったが、家具上部の破損が大きかった。

